

# 井戸公顕徳碑巡りの御案内

下記のように美郷町内に現存する井戸平左衛門顕徳碑 24 基を巡るツアーを開催します。

井戸平左衛門正明、享保 16 年(1731 年)9 月 13 日に第 19 代大森代官に着任(直後に笠岡代官を兼務)。享保の大飢饉(1732 年)による領内の窮状を目の当たりにし、領民たちを早急に救うため、幕府の許可を待たず年貢の減免、年貢米の放出、官金や私財の投入などを断行した。また、享保 17 年(1732 年)4 月、大森地区の栄泉寺で、薩摩国の僧である泰永からサツマイモ(甘藷)が救荒作として適しているという話を聞き、種芋を移入。その年に栽培を試みたが、植え付けの時期が遅かったことなどもあって期待通りの成果は得られなかった。しかしながら、邇摩郡福光村(現・大田市温泉津町福光)の老農松浦屋与兵衛方で収穫に成功。その後、サツマイモは石見地方を中心に救荒作物として栽培されるようになり、その後の天明の大飢饉(1782 年～1787 年)・天保の大飢饉(1833 年～1839 年)では多くの領民を救った。この功績により、井戸正明は領民たちから「芋代官」あるいは「芋殿様」と称えられ、今日まで顕彰されるに至っている。享保 18 年(1733 年)5 月 26 日に備中笠岡の陣屋で死去。その死因は、救荒対策の激務から過労により病死したとする説と、救荒対策のために幕府の許可を待たず独断で年貢米の放出などを断行したことに対する責任から切腹したとする説の二つがある。墓所は威徳寺(岡山県笠岡市)。井戸正明の死後、石見地方を中心に顕徳碑(芋塚)が建てられ、大田市の郷土史家故宮本豊氏により鳥取県東部から石見部一帯に 463 基存在することが確認されている。大田市大森町には井戸正明を祀る井戸神社がある。

日 時: 7 月 22 日(日) 8:00～17:00 小雨決行

定 員: 20 名

参加費: 一人 1,000 円:交通費・保険料・資料代

行程: 8:00 出発(7:45 には美郷町役場裏駐車場にお集まりください)

志君～惣森～小松地～柮谷～久喜原～地頭所～田水～高山～乙原～栗原

12:00～12:30 昼食・休憩(栗原 願泉寺本堂縁側)

築瀬～吾郷～奥山～高畑～浜原～滝原～信喜～潮～都賀行～宮内～都賀本郷～

下乙原～千原

17:00 役場駐車場解散

申込み〆切: 7 月 19 日(木)

主 催: 美郷町銀山街道を護る会

その他(準備物など)

- 弁当・飲み物・筆記具・カメラ・雨具などご持参ください。
- 実施が危ぶまれる天候の場合は、下記にお問い合わせください。



問い合わせ・申し込み

美郷町役場企画課 和田 哲也

TEL 0855-75-1924 FAX 0855-75-1218

美郷町銀山街道を護る会

道下 良徹(携帯 090-3173-3118)

林 朋宏(携帯 090-5575-5631)

